

## JEITA 国際戦略・標準化セミナー — 超スマート社会の実現と標準化 —

ビッグデータ解析技術や人工知能(AI)等の進歩により、サイバー空間と現実空間が高度に融合し、必要なモノ・サービスが、必要な時、必要な人に必要なだけ提供され、人々が生き生きと快適に暮らせる超スマート社会が到来します。その実現に向け、研究開発と並行して標準化を含む社会制度の整備が進められています。本セミナーでは、「超スマート社会の実現と標準化」をテーマに、AIに関連し3件(新技術を普及させる為の標準化戦略、品質保証上の課題と解決に向けた取組、契約の為のガイドライン等)、ならびに、昨今、国際的な標準化に関する議論が活発になりつつあるウェアラブルエレクトロニクスに関連しまして、専門家の方々にご講演頂きます。ぜひ聴講頂き、各社の事業戦略・標準化戦略の立案に役立てて頂ければ幸いです。

日 時 : 平成30年10月18日(木) 15:00~17:00

場 所 : 幕張メッセ国際会議場 201会議室(2階)

千葉市美浜区中瀬2-1 (アクセス) <http://www.ceatec.com/ja/access/access01.html>

主 催 : 一般社団法人電子情報技術産業協会 標準化政策部会 / 国際標準化戦略研究会

定 員 : 200名 (事前聴講予約制)

参加費 : 無料

申込方法 : 「CEATEC JAPAN 2018」のサイトからお申込みください。

[https://regist.ceatec.com/?act=Conferences&event\\_id=7](https://regist.ceatec.com/?act=Conferences&event_id=7)

※新規登録/ログインが必要です。CONFERENCEタイムテーブルから、[Day3 - 10/18]、[TR3-5]を選択願います。

講演資料 : お申込み頂いた方には、別途、講演資料のPDF版をお送りさせていただきます。(セミナー直前の予定)

事務局 : 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 (大手センタービル5階)

一般社団法人電子情報技術産業協会 標準化センター TEL 03-5218-1059 FAX 03-5218-1078

### Program

司会 本永 和広 JEITA国際標準化戦略研究会 主査 (日本電気株式会社 技術イノベーション戦略本部)

15:00~15:15	最新の基準認証政策について 渡辺 雅 氏 経済産業省 産業技術環境局 国際電気標準課 調整係長	時代の変化と社会ニーズに即したJIS法改正や標準化体制の強化など、標準化に関わる国の政策について紹介します。
15:15~15:35	AIの社会実装における標準化の役割 江川 尚志 氏 日本電気株式会社 技術イノベーション戦略本部 シニアエキスパート	AIという新しい技術には新しいルールや標準が必要となります。しかし深層学習に代表される近年のAI技術の可能性と限界は現時点では未知の点も多く、適切なルールや標準作りの障害となっています。本講演ではこうした現状と過去の標準化の経験則とを概観した後、法律やガイドラインといったルール、ISO/IEC JTC 1やIEEE等、公的機関やフォーラムが作る標準がAIの発展のために果たすべき役割を検討し、国内外で進む検討の現状を概観します。
15:35~16:00	機械学習応用システムの品質保証ガイドに向けて 石川 冬樹 氏 国立情報学研究所 アーキテクチャ科学研究系 准教授	機械学習を応用したAIシステムの研究開発が盛んに行われています。これらのシステムでは、開発者がプログラムとして振る舞いを書き出すのではなく、訓練データから振る舞いを生成します。このため振る舞いの予測・説明困難性など独自の難しさが生じます。本講演においては、機械学習を用いたシステムにおける品質保証の課題と、関連する取り組みについて紹介します。
16:00~16:25	AI・データの利活用に係わる法的課題への対応 林 健一郎 氏 パナソニック株式会社 知的財産センター 知財戦略部 制度・基盤課 課長	ビッグデータ解析やAIの利用が進展する一方で、それらに係る法的な対応は十分になされていません。この状況を踏まえ、経済産業省が「AI・データ契約ガイドライン検討会」を設置し、データの利用権限やAIに係る責任・権利関係を含む法律問題について、適切な契約の取決め方の検討を行いました。その検討を踏まえ今年6月15日に公表された「AI・データの利用に関する契約ガイドライン」について、その概要や意義を紹介します。
16:25~16:35	AI関係の質疑応答	
16:35~17:00	ウェアラブルエレクトロニクスの標準化 前田 郷司 氏 東洋紡株式会社 総合研究所 主幹	2017年にIEC TC 124(ウェアラブル電子デバイスおよび技術)が設立され、本分野に関する国際標準化作業が開始されました。本講演では、TC 124の設立経緯を含め、ウェアラブルエレクトロニクスに関する標準化動向とJEITAの取り組みについて紹介します。また、衣服型ウェアラブル機器を一例として、今後必要とされるであろう標準化アイテムについて解説します。
17:00	閉会	

プログラムの内容につきましては、都合により変更となる場合がございますので、予めご了承ください。